

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

指導課

補助金等の名称	佐倉市学校運営費等交付金
---------	--------------

予算科目	一般会計 款 9 項 1 目 3
予算事業名	①教職員研修事業 ②児童生徒等校外活動事業
実施計画の位置づけ	①教職員の資質を向上させます ②心を育てる学習を充実します

補助金分類	Ⅲ：普及、啓発等市が政策的に推進する個別の制度に関する財政支援
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接 <u>国県補助なし</u> 千円
交付先	①個人 ②団体
支出根拠規定	佐倉市学校運営費等交付金要綱

補助の目的	①人権教育推進に係る教職員の資質の向上を図る。 ②緑化推進等の校外活動を学校単位の団体で行う児童生徒の育成を図る。
補助の効果	①教職員が研修会に進んで参加し、人権教育が推進される。 ②みどりの少年団の活動が充実し、緑化推進の校外活動が促進される。
補助対象事業の 具体的内容	①人権・同和教育研究大会に参加し、人権教育の研修を深める。 ②佐倉すみどりの少年団育成協議会の運営、児童生徒の自然保護の意識啓発、みどりの少年団のリーダー養成、交流集会等の活動をする。
対象経費及び補助率	対象経費：①研修に要する経費 ②協議会の活動に関する経費 補助率：①年70,000円以内 ②年370,000円以内
補助金額の根拠	①人権・同和教育研究大会参加経費から算出している。 ②市内幼・小・中学校全校参加の活動経費から算出している。
備考	
1/2を超えて補助、設 立5年を超えて運営費 補助する理由	
その他	
補助期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日

補助事業計画書・成果報告書－2

補助金等の名称		担当課		指導課	
佐倉市学校運営費等交付金					
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	440	①【想定値】 教職員1人が研修会に参加 ②【目標値】 17校(団体加入率50%)3,000人の児童生徒が少年団で活動	440	①【実績値】 教職員2人が研修会に参加 ②【実績値】 14校(団体加入率41%)2,460人の児童生徒が少年団で活動	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	①研修会の参加により、人権教育への理解が深まり、各学校での指導、学力向上学級での支援が推進された。②校内及び市内の緑化活動が推進された。県交流集会の参加により、学校での取り組みの周知を図ることができた。 ①今後も人権教育研修会への教職員の参加を継続する。②みどりの少年団育成事業の周知を図り、活動の促進と活性化を図る。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	440	①【想定値】 教職員1人が研修会に参加 ②【目標値】 17校(団体加入率50%)3,000人の児童生徒が少年団で活動	415	①【想定値】 教職員1人が研修会に参加 ②【目標値】 14校(団体加入率41%)2,100人の児童生徒が少年団で活動	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	①研修会の参加により、人権教育への理解が深まり、各学校での指導、学力向上学級での支援が推進された。②校内及び市内の緑化活動が推進された。県交流集会の参加により、学校での取り組みの周知を図ることができた。 ①今後も人権教育研修会への教職員の参加を継続する。②みどりの少年団育成事業の周知を図り、活動の促進と活性化を図る。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	440	①【想定値】 教職員1人が研修会に参加 ②【目標値】 17校(団体加入率50%)3,000人の児童生徒が少年団で活動	437	①【想定値】 教職員1人が研修会に参加 ②【目標値】 15校(団体加入率44%)3,800人の児童生徒が少年団で活動	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	①研修会の参加により、人権教育への理解が深まり、各学校での指導、学力向上学級での支援が推進された。②校内及び市内の緑化活動が推進された。県交流集会の参加により、学校での取り組みの周知を図ることができた。 ①今後も人権教育研修会への教職員の参加を継続する。②みどりの少年団育成事業の周知を図り、活動の促進と活性化を図る。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	440	①【想定値】 教職員1人が研修会に参加 ②【目標値】 17校(団体加入率50%)3,000人の児童生徒が少年団で活動	425	①【想定値】 教職員1人が研修会に参加 ②【目標値】 15校(団体加入率44%)5,389人の児童生徒が少年団で活動	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	①研修会の参加により、人権教育への理解が深まり、各学校での指導、学力向上学級での支援が推進された。②校内及び市内の緑化活動が推進された。県交流集会の参加により、学校での取り組みの周知を図ることができた。 ①今後も人権教育研修会への教職員の参加を継続する。②みどりの少年団育成事業の周知を図り、活動の促進と活性化を図る。				

	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
令和元年度	440	①【想定値】 教職員1人が研修会に参加 ②【目標値】 17校(団体加入率50%)3,000人の児童生徒が少年団で活動	426	①【想定値】 教職員1人が研修会に参加 ②【目標値】 15校(団体加入率44%)5,671人の児童生徒が少年団で活動
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	①研修会の参加により、人権教育への理解が深まり、各学校での指導、学力向上学級での支援が推進された。②校内及び市内の緑化活動が推進された。県交流集会の参加により、学校での取り組みの周知を図ることができた。 ①今後も人権教育研修会への教職員の参加を継続する。②みどりの少年団育成事業の周知を図り、活動の促進と活性化を図る。			
計画期間終了後の最終的な目標値	①5年間で延べ教職員5人が研修会に参加し、人権教育の推進と教職員の資質の向上を図る。 ②17校(団体加入率50%)。5年間で延べ15,000人の児童生徒がみどりの少年団で活動し、緑化推進と児童生徒の育成に資する。			
計画期間終了後の最終的な成果値	①5年間で延べ教職員6人が研修会に参加し、人権教育の推進と教職員の資質向上を図った。 ②15校団体加入率44%、5年間で延べ19,420人の児童生徒がみどりの少年団で活動し緑化推進と児童生徒の育成の支援を行った。			

